

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保健医療サービス Theory of Health Care Services		2年	後期	木曜日・3時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	必修	(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
幡山久美子	非常勤講師室	木曜日 8:50~16:00		授業中に指示します
授業の概要				
相談援助活動において必要となる医療保険制度や診療報酬制度、保健医療サービスに関する政策等について理解する。保健医療サービスにおける専門職の役割を理解し、他職種との連携・協働について考察する。				
授業の到達目標				
①保健医療福祉制度と医療保険制度の変遷と現状及び政策動向を理解することができるようにする。 ②保健医療福祉の利用者にかかわる専門職として必要な視点や姿勢を明確化することができるようにする。 ③患者・利用者の生活を視点に入れた援助のあり方について考察することができるようにする。 ④保健医療サービスに関係する専門職および当事者・家族といった非専門職との連携方法を検討することができるようにする。				
授業の方法				
講義形式				
学習の成果				
①わが国の保健医療福祉制度および医療保険制度の成り立ちについて理解することができる。 ②異なる職種との連携のあり方を理解することができる。 ③患者・利用者と家族との連携の必要性を理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明			
第2回目	保健医療ならびに医療保健の法制度の歴史			
第3回目	医療保険の法制度の現状ならびに診療報酬制度の概要と課題			
第4回目	保健医療サービスの概要(1) 健康日本21			
第5回目	保健医療サービスの概要(2) 高齢者の保健医療対策			
第6回目	保健医療サービスの概要(3) 医療の機能分化と施設概要			

第7回目	保健医療サービスの概要(4) 医療費高騰の背景と生活習慣病対策		
第8回目	保健医療サービスの概要(5) がん対策		
第9回目	保健医療サービスの概要(6) 慢性疾患・難病対策		
第10回目	保健医療サービスの概要(7) 福祉の中の医療問題		
第11回目	保健医療サービスにおける専門職の役割と機能		
第12回目	保健医療サービスに関係する専門職との連携		
第13回目	患者の権利と保健医療サービス関連の非専門職との連携		
第14回目	まとめと試験 理解度確認テストとこの授業に関連する内容に即したレポート作成(事前に作成しておくこと)		
第15回目	試験の振り返りとレポートについての発表		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		10%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。配布されたプリントを整理し、いつでも参照できるようにしている。必要に応じてノートを取る。不明な点があれば積極的に質問する等々。
レポート		40%	授業の内容に即したテーマを選択すること。そのテーマ選択理由が明確であること。所定の文字数で作成されていること。所定の形式が守られていること。読みやすさに工夫がなされていること。提出期日を守る。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		40%	授業の内容を理解していること。それを表現できていること。
発表内容(態度含む)		10%	レポートの内容をまとめたものであること。聴き手に伝える工夫をしていること。
その他			
教科書と参考図書			
教科書: 福祉臨床シリーズ編集委員会編、『保健医療サービス(第2版)』、弘文堂 参考書: 『社会保障入門2013』、中央法規 適宜、資料の配布および参考図書の紹介をする。			
履修上の心得・ルール			
目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。 遅刻厳禁。居眠り・私語・携帯端末の不適切な使用について厳重に注意する。飲食禁止。			